

## いつまでもお元気で

舟場敬老の集い

地域の高齢者の長寿を祝い、元気で長生きしてもらいたいと、舟場自治会（松田毅自治会長）主催の敬老の集いが、10月14日、舟場コミュニティセンターで開かれました。

今回は、地区内の満77歳以上の対象者33人のうち、13人が出席し、自治会長、町長、議長によるあいさつの後、出席者を代表して舟場老人会会長の綿博文さんのお礼のあいさつがありました。

お待ちかねのアトラクションでは、榎市出身のマジシャン、ジミー柴田さんによるショーと舟場昭和会による銭太鼓などが行われ、出席者と住民が一緒に楽しんでいました。



次々飛び出す芸に拍手がっさい

## まちの話

### 2つのメダル獲得

一わか杉大会 小林さんが出場



メダルと花束を手に、喜びの笑顔の小林さん

10月13日から15日までの3日間、秋田県で開かれた、第7回全国障害者スポーツ大会「わか杉大会」に、鳥取県代表選手として、日野町から小林綾子さん（上菅）が出場しました。小林さんは、秋田市の県立中央公園陸上競技場で行われた陸上競技に出場、女子21区分1部の60m走で優勝、同じく立幅跳では第2位に輝きました。おめでとございます。

全国障害者スポーツ大会は、障害者の社会参加を目指し、毎年国体の直後に同じ会場で開催される大会です。

### 名所めぐりで親ぼくを

安井栄寿会

津地・安原地区の老人クラブ、安井栄寿会（瀬田寿幸会長）の町内名所探訪が、10月24日に行われました。

瀬田会長は、「昨年までは県外に出て研修していましたが、蔵美術館に行ったことのない人や、長楽寺の仏像を見たことのない会員もおり、今回は町内の名所めぐりをして会員どうしの親ぼくを図ろうと計画しました」と話し、参加した会員16人は、金持神社から長楽寺、鶴の池、泉龍寺、蔵美術館などをバスで回り、研修を行いました。



国の重要文化財、長楽寺仏像の前で記念写真

## 健康は足から

介護予防教室 ほかほか教室



足の裏はさまざまなツボが密集したポイント

まちが町内各地区で開いている介護予防教室「ほかほか教室」が、10月26日、山村開発センターで根根6区住民を対象に開かれ、16人が参加しました。

また、今回はおしどり荘の職員3人が訪れ、フットケア教室も同時に行われました。

教室では、まず足をお湯につけて血行を良くしてから、職員が足の裏のツボを刺激する足裏マッサージを行ったり、自宅でも簡単に出来る健康体操などを体験しました。

おしどり荘と合同の教室は今年度2回目。まちでは、地域に直接出かけて介護予防に取り組んでいます。

## 日本伝統の音楽を鑑賞

ひので雅楽を聞こう！



舞台上にみやびな世界が出現

ふだん聞く機会が少ない雅楽に親しんでもらおうと、10月28日、鳥取雅友会による雅楽公演、ひので雅楽を聞こう！（同実行委員会主催）が、町文化センターで開かれました。

鳥取雅友会は、県内の雅楽愛好者によって昭和62年に結成、県内各地で演奏活動を続けているアマチュア団体です。

公演では、朱塗りの欄干をめぐる世た舞台上に出演者が並び、笙、箏、太鼓などの楽器を使った雅楽が演奏されました。また、舞楽などの舞も披露され、約150人の観客は、きらびやかな衣装で華麗に舞う姿に感嘆しながら見つめていました。

## 健康づくりと親ぼくを

町老人大会

町内11の老人クラブが一堂に会し、体力増進と親ぼくを図る運動会、第26回町老人大会、町老人クラブ連合会主催が、10月30日、根雨社会体育館で開かれ、約1000人の高齢者が参加しました。

大会のはじめに町老人クラブ連合会の生田秀正会長があいさつ、「高齢者の皆さんが健康であることはまちの大きな財産。今日は健康づくりと交流を深めてほしい」と話しました。大会では、赤・青・白の3組に分かれた参加者が関所やぶり、ボーリングなど6つの競技に汗を流し、また、クラブどうしの交流を深めました。



万歳三唱で勝利を喜ぶ

## 7年ぶりに優勝

郡親善ゲートボール大会



トロフィーを前に、日野混成チームの皆さん

日野郡内のゲートボール愛好者による、日野郡親善ゲートボール大会が、10月20日、江府町総合運動公園ゲートボール場で開かれ、郡内14チーム、約80人の選手が日ごろの練習の成果を競いました。

結果は、日野町から出場した日野混成チーム（若林勲さん、松本節哉さん、西村松男さん、小谷修さん、小谷博子さん、奥田照子さん）が見事7年ぶりの優勝を果たしました。

会員を募集しています。

町ゲートボール協会では、会員を募集しています。原則毎日午後、津地のゲートボール場で練習しています。仲間づくり・健康づくりにいかがですか。連絡先 事務局 田口昉史さん（電話72 1086）または、山吹長年さん（電話72 0493）

## 豆力士たちの熱闘

藤森神社宮相撲

11月2日、藤森神社（黒坂）で、伝統の奉納角力（相撲）が行われました。これは、毎年11月3日の例祭の前夜祭として毎年行われているもので、今では町内でも珍しくなった地域の行事でもあります。

神社境内に造られた土俵では、集まった地元の子どもたちが、すっかり冷え込んだ気温の中裸足で参加。勝負によって賞金額が変わることもあってか、3人抜きを競い合ったりと大熱戦を繰り広げました。

参加した子どもは、「始まる前からやる気まんまんでした。寒さを忘れて夢中で相撲したけど、足はやっぱり冷たいです」と感想を話しました。



寒さを忘れてぶつかり合う